



竜北生の「本気」

校長 尾崎 淳一

常に提出期限に追われながら、校長室に籠り、独りぼっちで書類を作成していると、竜北生の皆さんの声が耳に入ってきます。「おはようございます」「こんにちは」と挨拶を交わす元気な声。仲間と談笑する明るい声。職員室を訪れるときの緊張気味の声。校長室から声の主は分かりませんが、「**竜北ライフ**」をたのしむ竜北生の姿が目に見え、とても嬉しくなります。今日も元気に、**「竜北生、Go!!」**

また、竜北中には68人の教職員がいます。それぞれの立場から竜北生を支援する素敵な大人たちです。朝から晩まで竜北生の成長を心から願い、その実現に向けて努力しています。私は、この教職員集団を「**ファミリー竜北**」と呼んでいます。竜北生の皆さんから見て、「お兄さん」「お姉さん」のような存在や「お父さん」「お母さん」のような立場の教職員もいますね。私はふと、「**お爺さんは誰か？**」との疑問が頭に浮かびましたが、「**お兄さん役**」の私には分かりませんでした。今日も元気に、**「ファミリー竜北、Go!!」**

【研究主題】

学びをたのしむ竜北生

～教師と生徒が共に育つ学校づくり～

【学びをたのしむ3つの「生徒の姿」】

- 考えたい、やってみたくと動き出す姿
- 他者とかかわりながら、思いを広げたり、深めたりする姿
- 成長や課題を認識し、次につなげる姿

さて、先日の全校集会でお知らせがあったように、10月23日（木）に研究発表会を開催します。これは、10年に一度しかチャンスが巡ってこない貴重なイベントで、知立市内の小中学校の教員を中心に、ご来賓や周辺市町の教職員など、**約200人の参加**を見込んでいます。4年に一度のオリンピックと比べて、10年に一度の研究発表会はその2.5倍もレアということですね。左の図にあるように、テーマは『**学びをたのしむ竜北生～教師と生徒が共に育つ学校づくり～**』です。何も難しいことではなく、「竜北ライフ」の様々なシーンにおいて、「**学習や行事に全力で取り組む姿**」「**仲間と関わることで自分の考えを確かめる姿**」「**自らの成長や課題を見つめ、次の学びに生かす姿**」など、何事にも一生懸命に取り組む竜北生の皆さんの「**本気の姿**」を見ていただければいいのです。この研究を通して、**竜北生**とともに、**ファミリー竜北**の全員が大きく育つのです。楽しみですね。

ところで、『世界陸上東京大会』が開催されていますね。東海大会をはじめ、様々な大会における**竜北陸上部の大活躍**により、すっかり陸上競技に目覚めた私は、ついテレビを観てしまいます。東京で行われているので、時差もなく寝不足にもならずじつくりと楽しめます。その中で、**銅メダルまで0.06秒差の5着**に輝いた110mハードルの日本人選手のインタビューに驚きました。「**何が足りなかったんだろう。何が間違っていたんだろう**」と泣き崩れるのです。日本人が世界と互角に戦うのは難しいと言われるトラック競技で、「**金メダルと0.19秒差の5着**」ですから、素晴らしい結果です。しかし、そこで満足しない、「**本気**」の姿を見ました。この**0.19秒差**を埋めるために、再び努力の日々が始まるのでしょうか。いつか金メダルに輝くことを願い、これからも応援します！

研究発表会では、**竜北生の「本気」**を見ていただきましょう！**「竜北生、Go!!」**

10月23日に、10年に一度の研究発表会を開催します。受付や接待など、保護者ボランティアを依頼したい係もありますので、お力添えをいただければ嬉しく思います。